



## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月6日

上場会社名 日本製粉株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2001 URL <https://www.nippon.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 近藤 雅之  
 問合せ先責任者 (役職名) 広報部長 (氏名) 津田 尚之 TEL 03-3511-5307  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月7日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無  
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	263,141	3.2	8,593	△1.6	10,042	△4.4	6,844	0.1
2019年3月期第3四半期	254,992	4.0	8,729	14.5	10,500	12.8	6,839	9.5

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 8,261百万円 (67.9%) 2019年3月期第3四半期 4,920百万円 (△63.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	89.34	77.94
2019年3月期第3四半期	87.55	78.73

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	292,062		160,304		155,431	53.2
2019年3月期	293,392		154,986		150,147	51.2

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 155,431百万円 2019年3月期 150,147百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	15.00	—	17.00	32.00
2020年3月期	—	16.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	18.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 有

## 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	350,000	4.4	12,000	6.9	13,500	3.3	9,000	6.4	117.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

## ※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- |                      |     |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更        | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| ④ 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	78,824,009株	2019年3月期	78,824,009株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	2,157,224株	2019年3月期	2,226,385株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	76,613,587株	2019年3月期3Q	78,125,020株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額	前年同期比
売上高	254,992	263,141	8,148	103.2%
営業利益	8,729	8,593	△135	98.4%
経常利益	10,500	10,042	△457	95.6%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	6,839	6,844	5	100.1%

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、本年に開催を控えた東京オリンピック・パラリンピックに向けて個人消費の高まりが期待される一方で、米中貿易摩擦や英国のEU離脱問題などに起因する世界経済の変動による影響も懸念されており、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

食品業界におきましては、消費者の節約志向が根強く残る中、少子高齢化に伴う市場縮小や労働力不足による人件費・物流費などのコスト上昇に加えて、TPP11・日欧EPAの発効、日米貿易協定といった貿易自由化の影響も予想されるなど、事業環境は依然として厳しさを増しております。

当社グループは、このような厳しい事業環境においても、持続的成長を維持することを目指し、コスト削減と販売の強化を軸に、グループを挙げて今後成長が見込まれる分野への積極的な投資などの事業基盤強化に取り組んでいます。千葉工場ふすまバラ出荷設備が竣工したほか、現在進行中の設備投資として、福岡工場でのプレミックス工場新設、ニッポン冷食株式会社による伊勢崎工場での冷凍食品工場増設、NIPPON (Thailand) Co., Ltd. での冷凍食品工場建設、インドネシアでのプレミックス工場建設などを取り進めており、国内外で積極的な設備投資を推進しています。

また、昨年9月には当社コーポレートブランドロゴとスローガンの改定を実施しました。この新しいコーポレートブランドロゴと新しいスローガン「いつも食卓に、ニッポン」と共に、当社グループは、これまで以上に皆さまの食シーンの中でお役に立ち、親しみをもっといただける会社になることを目指してまいります。

さらに、社内の組織体制についても、食品部門の機構改革や海外事業部門体制及び家庭用商品開発体制の強化を実施するなど、事業のさらなる展開に対応できる体制づくりを取り進めており、持続可能な環境や社会を実現するための課題解決に一層努めてまいります。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は2,631億4千1百万円（前年同期比103.2%）、営業利益は85億9千3百万円（同98.4%）、経常利益は100億4千2百万円（同95.6%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は68億4千4百万円（同100.1%）となりました。

事業別の状況は次のとおりです。

## ①製粉事業

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額	前年同期比
売上高	77,970	78,832	862	101.1%
営業利益	4,249	4,506	256	106.0%

当社グループでは、食の安全・安心志向の高まりを受けて、品質管理の強化に努めるとともに、お客様のニーズや食の多様化に対応した課題解決型営業の推進に注力しております。さらに、各種展示会への出展、経営セミナーをはじめとする全国各地での講習会・講演会の開催、新商品の発売など、活発な営業活動を展開しました。

その結果、小麦粉及び副製品のふすまの売上高は前年同期を上回りました。

なお、外国産小麦の政府売渡価格が昨年4月から5銘柄平均（税込価格）で1.7%、昨年10月には同8.7%引き下げられたことに伴い、当社は昨年7月及び本年1月に製品価格の改定を実施しました。

以上により、製粉事業の売上高は788億3千2百万円（前年同期比101.1%）、営業利益は45億6百万円（同106.0%）となりました。

## ②食品事業

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額	前年同期比
売上高	149,249	155,497	6,248	104.2%
営業利益	4,217	3,633	△584	86.1%

業務用食品では、各種展示会への出展、イタリア料理技術講習会の開催など、積極的なマーケティング活動を展開したことにより、業務用プレミックスの販売が国内外ともに好調に推移した結果、売上高は前年同期を上回りました。

家庭用加工食品では、プレミアム・パスタブランド「REGALO（レガーロ）」とアマニ関連食品についてテレビCMを放映するなど、積極的な販売促進活動を実施しました。これらの結果、売上高は前年同期を上回りました。

家庭用冷凍食品では、シリーズの全面刷新を行った冷凍パスタ「オーマイプレミアム」シリーズ、朝食向けバラエティを強化した1食完結型のトレー入り「よくばり」シリーズが好調に推移した結果、売上高は前年同期を上回りました。

中食事業では、愛知県知多市の新工場が稼働したことにより販売が拡大した結果、売上高は前年同期を上回りました。

以上により、食品事業の売上高は1,554億9千7百万円（前年同期比104.2%）、営業利益は36億3千3百万円（同86.1%）となりました。

## ③その他事業

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額	前年同期比
売上高	27,772	28,810	1,038	103.7%
営業利益	248	413	165	166.5%

ヘルスケア事業は、機能性素材のセラミドが好調に推移した結果、売上高は前年同期を上回りました。

不動産賃貸事業は、昨年8月に「リンクスクエア新宿」が竣工したことにより、賃貸収入が増加した結果、売上高は前年同期を上回りました。

以上により、その他事業の売上高は288億1千万円（前年同期比103.7%）、営業利益は4億1千3百万円（同166.5%）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

(単位：百万円)

	2019年3月期	2019年12月期	増減額
流動資産	118,330	112,835	△5,495
固定資産	174,988	179,163	4,174
繰延資産	73	64	△9
資産合計	293,392	292,062	△1,329
流動負債	76,100	73,209	△2,890
固定負債	62,305	58,548	△3,756
負債合計	138,405	131,758	△6,647
純資産	154,986	160,304	5,318
負債・純資産合計	293,392	292,062	△1,329

当第3四半期連結会計期間末の総資産残高は、前連結会計年度末に比べ13億2千9百万円減少し、2,920億6千2百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金が59億1百万円、原材料及び貯蔵品が37億5千7百万円、商品及び製品が4億3千7百万円減少したことによるものです。

負債の残高は、前連結会計年度末に比べ66億4千7百万円減少し、1,317億5千8百万円となりました。この主な要因は、借入金が増加したこと及び支払手形及び買掛金が75億2百万円、未払法人税等が12億1千4百万円減少したことによるものです。

純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ53億1千8百万円増加し、1,603億4百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が37億2千7百万円、その他有価証券評価差額金が12億5千2百万円増加したことによるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

食品業界では、TPP11・日欧EPAの発効、日米貿易協定といった貿易自由化の影響により環境が大きく変化することに加え、中国における新型コロナウイルスの発生による経済への影響が予想されるなど、先行きは依然として不透明な状況が続いておりますが、当社グループでは引き続きお客様のニーズに合わせた商品開発を進めるなど、柔軟に対応してまいります。

2020年3月期の業績予想につきましては、2019年5月10日に公表いたしました通期の連結業績予想を据え置き、売上高は3,500億円、営業利益は120億円、経常利益は135億円、親会社株主に帰属する当期純利益は90億円としております。

なお、期末配当につきましては、当初予想より2円増配し、1株当たり18円とさせていただきますことを予定しております。これにより、年間の配当予想は34円となります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	32,958	27,056
受取手形及び売掛金	47,410	51,548
商品及び製品	15,508	15,070
仕掛品	32	233
原材料及び貯蔵品	19,230	15,473
その他	3,348	3,622
貸倒引当金	△159	△169
流動資産合計	118,330	112,835
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	37,159	42,227
機械装置及び運搬具(純額)	20,511	20,081
土地	40,032	40,724
建設仮勘定	1,719	740
その他(純額)	1,809	1,820
有形固定資産合計	101,233	105,594
無形固定資産		
のれん	622	542
その他	753	940
無形固定資産合計	1,376	1,483
投資その他の資産		
投資有価証券	65,472	66,485
その他	7,525	6,207
貸倒引当金	△620	△607
投資その他の資産合計	72,377	72,085
固定資産合計	174,988	179,163
繰延資産	73	64
資産合計	293,392	292,062

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	34,564	27,061
短期借入金	19,201	21,723
1年内償還予定の社債	—	5,000
未払法人税等	2,084	869
賞与引当金	615	270
その他	19,634	18,283
流動負債合計	76,100	73,209
固定負債		
社債	5,000	—
転換社債型新株予約権付社債	25,110	25,096
長期借入金	12,041	12,278
退職給付に係る負債	4,494	4,045
役員退職慰労引当金	819	824
その他	14,840	16,303
固定負債合計	62,305	58,548
負債合計	138,405	131,758
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	12,240	12,240
資本剰余金	11,262	11,262
利益剰余金	103,682	107,409
自己株式	△3,536	△3,422
株主資本合計	123,648	127,490
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	26,424	27,677
繰延ヘッジ損益	△2	1
為替換算調整勘定	572	718
退職給付に係る調整累計額	△495	△456
その他の包括利益累計額合計	26,498	27,941
新株予約権	287	241
非支配株主持分	4,552	4,630
純資産合計	154,986	160,304
負債純資産合計	293,392	292,062

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	254,992	263,141
売上原価	184,936	189,736
売上総利益	70,056	73,405
販売費及び一般管理費	61,327	64,811
営業利益	8,729	8,593
営業外収益		
受取利息	73	46
受取配当金	1,297	1,375
持分法による投資利益	236	207
その他	573	394
営業外収益合計	2,180	2,024
営業外費用		
支払利息	176	157
その他	232	417
営業外費用合計	409	575
経常利益	10,500	10,042
特別利益		
固定資産売却益	3	173
投資有価証券売却益	40	504
受取保険金	18	—
特別利益合計	62	677
特別損失		
固定資産除売却損	100	95
投資有価証券評価損	30	33
建物解体費用	372	71
コーポレートロゴ等変更費用	—	397
その他	30	32
特別損失合計	533	630
税金等調整前四半期純利益	10,028	10,090
法人税、住民税及び事業税	2,528	2,604
法人税等調整額	493	546
法人税等合計	3,021	3,150
四半期純利益	7,007	6,939
非支配株主に帰属する四半期純利益	167	94
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,839	6,844

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	7,007	6,939
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,390	1,319
繰延ヘッジ損益	4	3
為替換算調整勘定	36	28
退職給付に係る調整額	177	39
持分法適用会社に対する持分相当額	84	△69
その他の包括利益合計	△2,086	1,322
四半期包括利益	4,920	8,261
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,804	8,163
非支配株主に係る四半期包括利益	116	98

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	製粉事業	食品事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	77,970	149,249	227,219	27,772	254,992	—	254,992
セグメント間の内部売上 高又は振替高	1,321	547	1,869	5,738	7,607	△7,607	—
計	79,292	149,796	229,088	33,511	262,600	△7,607	254,992
セグメント利益	4,249	4,217	8,467	248	8,715	13	8,729

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ペットフード、健康食品類、エンジニアリング、不動産賃貸等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額13百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	製粉事業	食品事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	78,832	155,497	234,330	28,810	263,141	—	263,141
セグメント間の内部売上 高又は振替高	1,661	487	2,149	1,306	3,455	△3,455	—
計	80,494	155,985	236,480	30,117	266,597	△3,455	263,141
セグメント利益	4,506	3,633	8,139	413	8,553	40	8,593

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ペットフード、健康食品類、エンジニアリング、不動産賃貸等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額40百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。